

流通・医療機関における コードの利活用

標準コードとローカルコードの利用の現状

笠 原 庸 介

SPD研究会 理事長

本日の話

4つのQ & A

- 1) 標準コードは病院ではほとんど活用されていないのでは？
- 2) 病院、SPD業者、医療機器販売業者は、標準コードを使わないでなぜ、ローカルコードを使うのか？
- 3) 標準コードをローカルコード等に付け替えると変換ミスが起こる可能性あり、一気通貫で標準コードを使うべきでないか？
- 4) JANコードとEAN／UPC(欧州／北米)コードとは互換性があり、GTIN (Global Trade Item Number)も互換性があるはずなのに、なぜ、欧米 など生産国のGS1 コードを わざわざ日本の国コード450～459、490～499を頭につけた GS1-JAPANのコードに置き換えて製品表示するのか？

バーコードとシンボル（データキャリア）

JANコード	区 分	内 容	見 本
バーコード	バーシンボル	黒白の縞模様の列	
	コード(番号)	数 字	4569951116179

コードシンボル（データキャリア）

○一次元シンボル（バーコードシンボル）：

JANシンボル

GS1-128バーコード



○二次元シンボル

○電子タグ(RFID)



QRコード



データマトリックス

GS1-128とは

◆バーコード体系の一種。

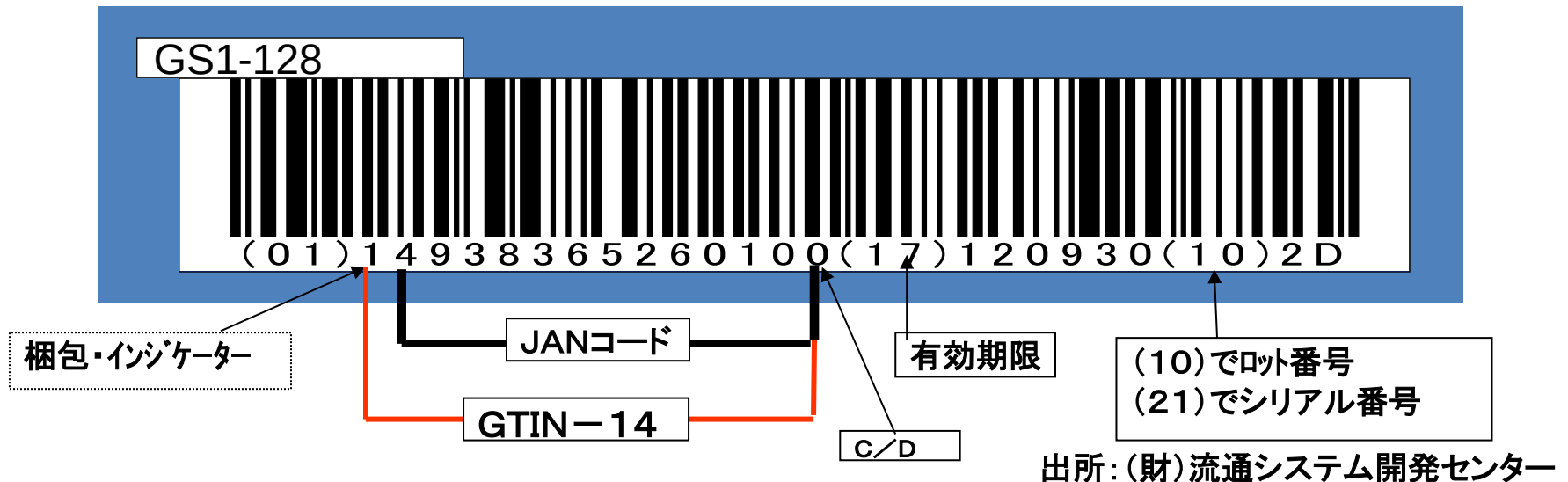
◆古い名称は「UCC/EAN-128」、2005年1月にGS1が設立されて名称が変更され、「GS1-128」となる。

●英数字記号など128種類の文字を表示できるので「128」

◆()は、背番号を意味するデータ項目番号を「アプリケーション識別子」(AI : Application Identifier)という。

固定情報 : (01):GTIN 14

可変情報 : (17):有効期限 (10):ロット番号 (21):シリアル番号 (30):数量



GTIN(ジーティン)とは

◆GTIN; Global Trade Item Numberの略称

世界的な商品識別コードの管理機構(GS1)が推進する国際標準の商品識別コード

◆桁数の異なる製品コードを14桁で統一して表す製品コードの総合名称

商品コード	T ₁	T ₂	T ₃	T ₄	T ₅	T ₆	T ₇	T ₈	T ₉	T ₁₀	T ₁₁	T ₁₂	T ₁₃	T ₁₄	C/D
GTIN-14(集合包装用商品コード)	N ₁	N ₂	N ₃	N ₄	N ₅	N ₆	N ₇	N ₈	N ₉	N ₁₀	N ₁₁	T ₁₂	T ₁₃	T ₁₄	C/D
GTIN-13(JANコード13)	0	N ₁	N ₂	N ₃	N ₄	N ₅	N ₆	N ₇	N ₈	N ₉	N ₁₀	N ₁₁	T ₁₂	T ₁₃	C/D
GTIN-12(UPCコード)	0	0	N ₁	N ₂	N ₃	N ₄	N ₅	N ₆	N ₇	N ₈	N ₉	N ₁₀	N ₁₁	T ₁₂	C/D
GTIN-8 (JANコード8)	0	0	0	0	0	0	N ₁	N ₂	N ₃	N ₄	N ₅	N ₆	N ₇	N ₈	C/D

-日本固有の呼称 **JANコード**

標準タイプ13桁(GTIN-13)、短縮タイプ(GTIN-8)

-米国、カナダで普及している **UPCコード**

標準タイプ12桁(GTIN-12)、短縮タイプ(GTIN-8)

標準コードとローカルコード

標準コード: MEDIS-DC医療機器データベースに登録されている
医療機器等のコード

GTIN14、 GTIN13(JAN)

* ここでは、GTIN14のことを指すことにする。

ローカルコード:

○標準コード以外の商品进行特定する、GTIN14(固定情報) に対応する
コード

○通称:「商品コードあるいは物品コード」と呼ばれている

(例)

- ・病院独自の資材コード
- ・SPD業者、医療機器販売業者の独自コード
- ・医器販協データベースのコード
- ・民間コード : メディエ(メディエ社)
メッカル(メディアソリューション社)
mrp-s(エムアールピー社)
- ・その他の番号

Q & A その1

Q: 1) 標準コードは病院ではほとんど活用されていないのでは？

確認: 「商品を特定するローカルコード(物品コード・商品コード)としてGTIN14を使っていない」と言う意味ですか？

A: ①院内物流管理を行っているSPD業者は、GS1-128(バーコード)を読み取り、ローカルコード等に紐付して材料の供給・消費・在庫管理を行っているので、病院でも標準コードを活用していると言えるのではないか

②病院自身が物流管理をしている場合でも、京都第二日赤では、同様にGS1-128とローカルコードを紐付けて、病院単独でSPD業者と同じ方法でトレーサビリティに活用している

*** 医療材料を多数使用するSPD業者が院内管理している約1,000病院が該当すると推定される**

Q & A その2

Q: ②病院、SPD業者、医療機器販売業者は、標準コードを使わないで、なぜ、ローカルコードを使うのか？

A: ○標準コードの取組みが始まったのは約15年程前からである。

それまでは、ローカルコードが一般的であった。

国や業界の努力の結果、標準コードが普及してきたが、これまでのローカルコードを標準コードに置き換える必要があり、それにはコードの変化テーブルの作成、切替に費用と手間がかかる。

○標準コードが付番されていない医療材料以外の文房具、日用雑貨などを取り扱う必要がある。

(標準コードが付番されていない材料は、コンピュータ処理できない。

ローカルコードであれば、付番されていない材料でも、随時、番号、仮番号を付番を付番するなどして即時に処理できる。)

医療材料マスタについて

医療機器等の物流管理を行うためには、
物流管理コンピュータシステムと医療材料マスタが不可欠である。

標準コードとローカルコードを紐つけするためのコード変換テーブル(お見合い表)を作成することが必須である。

◎ 問題点

多くの医療機関では、医療材料マスタの重要性が軽視されており、マスタ管理に人材や資金が投入されていない

コード変換テーブル（お見合い表）の例

院内コードとJAN, GS1コードと紐つけるマスタ変換テーブル(お見合い表)を作成・メンテナンスすることが物品管理の第一歩である。

この重要性が軽視され(特に病院上層部はその認識がない)、そのために価格比較もできないなど不都合が生じている。

物品名	規格	メーカー	物品コード (ローカル)	JAN	包装単位			メディ コード	特定器材 コード	医事 コード
					個装	中箱	外箱			
トップ内視鏡穿刺針		トップ	10002695	4996404018825	04996404018825	54996404018820	74996404018824	T836801	* 729480000	500442
AED成人用パッド		フィリップス	10002893	4560126547118	04560126547118			T814151	737060000	501078
杉田クリップ		瑞穂医科	10002849	4946329061215	04946329061215			T140905	736520000	501020
LCPディスタルヒューメラルプレート		シンセス	10002854	7611819801530	07611819801530			T725145	729030000	500401
メディキットスーパーソース		メディキット	10002894	4543527153539	04543527153539	14543527153536		T590985	738160000	501158
血管塞栓マイクロネスタコイル		メディコシタ	10002979	0827002269897	00827002269897			T651833	737530000	501125
ラジフォオカシントロデューサー IIH		テルモ	10002982	4987350093516	04987350093516	34987350093517	54987350093511	T702266	738160000	501158
ソラシックLCV-UKカテーテル		日本シャーウッド	10003046	4987578087908	04987578087908	14987578087905	24987578087902	T503021	733360000	501257
アパセラム骨補填材		HOYA	10003050	4961333056439	04961333056439	14961333056436		T452786	736280000	500988

注1)2010年5月現在、登録されていない包装単位は空欄になっています。

注2)特定器材コードの*付コードは条件付償還

注3)医事コードは院内医事コード

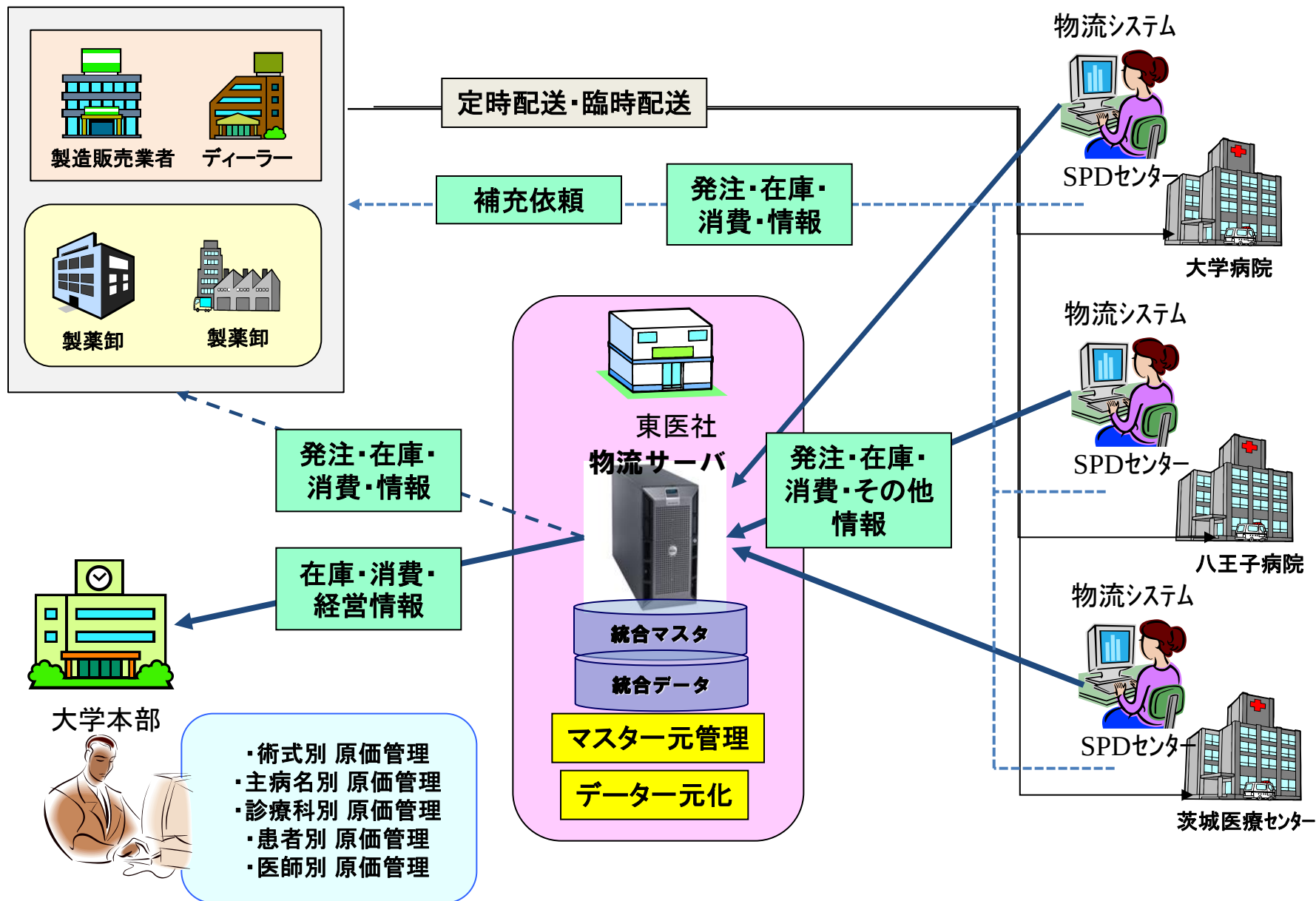
出所:バーコード・電子タグ活用ガイド

「東京医医科大学3病院の調達一元化プロジェクト」 における統一マスタデータの作成事例」

プロジェクト期間:平成23年7月 ～ 平成25年7月

東京医科大学3病院の調達を子会社:東医社に一元化するために、
医療材料マスタの統一を図った。

東京医科大学におけるマスター元管理



医療材料マスタの作成

①マスタ統合前

3病院のマスタ項目を検証した結果、DDとHCは病院システム(購買管理システム)として「NECキャリメイト」(オーダリングシステムと連係)を使用し、マスタの共通項目は多かった。IBは同システムを導入していないので、医療材料のマスタは整備されていなかった。

DDとHCにしてもマスタメンテナンスが十分できていたとは言い難い状況であった。マスタに登録されている各項目は、3病院が独自の定義やルールを決めているので、既存のマスタに基づく比較及び統一が行いづらい状態であった。

施設名	DD病院		IBセンター		HCセンター	
登録対象品目	医療材料・試薬関連材料		医療材料・試薬関連材料・消耗品・文具		医療材料・試薬関連材料・消耗品・文具	
勘定科目	三2. 医療経費支出 医療材料費支出	17,979	(医材) 医療材料	3,592	三2. 医療経費支出 医療材料費支出	8,112
			消耗	5	三1. 医療経費支出 薬品費支出	26
			(その他) 消耗	1,349	三12. 医療経費支出 機器等修繕費支出	1
			文具	951	三7. 医療経費支出 消耗品費支出	96
			(薬品) 医療材料	7	四1.(4) 管理経費支出 その他の消耗品費	11
					二1.(1) 教育研究経費支出 文具費	24
					二1.(4) 教育研究経費支出 その他の消耗品費	16
マスタ総件数		17,979		5,904		8,286
JANコード		768		1,770		32

② 作成上の問題点

3病院とも医療材料の分類体系として、私大協の18分類を使用しているが、次の通り、項目数が17項目から73項目とバラバラであり、分類の認識が各病院・各担当者によって統一性がないなど、正確に分類・分析が出来ていたか危ぶまれる。

照合に使える共通した参考コード(JANコード等)が登録されていないので、統合作業が簡単にできない、状況であった。

物流管理の基本である1物品に対し1マスタ管理が出来ていない。

◆前出の購買管理システム「キャリーメイト」は、1つのマスタに2つ以上の勘定科目をシステム上で登録することができない。従って、同一物品が勘定科目ごとに複数のマスタを持つことになる。

◆DD、HCは規格・サイズ違い物品を一つのマスタに集約しており、規格が異なる物品毎のJANコード登録が出来ない。

18分類(基本)		施設別18分類項目数	
分類コード	分類名称	施設名	18分類項目数
01	記録用材	DD病院	28
02	ガラス、プラスチック類	IBセンター	17
03	分包紙、投薬袋	HCセンター	73
04	ディスポ注射器、針		
05	カテーテル類		
06	医療ガス		
07	縫合糸、縫合針		
08	輸液、輸血、排液セット		
09	ガーゼ包帯、絆創膏類		
10	X線フィルム		
11	その他のフィルム		
12	現像液、定着液		
13	医療用手袋		
14	体液(血液)浄化器		
15	人工臓器類		
16	ディスポ電極、リード類		
17	不織布類		
18	その他の医療材料		

東医大・統一物品コード最終案

統一物品コード：最大桁数：14桁 使用桁数：8桁 属性：文字(数字含む)

注：①最大桁数はGTIN-14を取り込めるように、14桁とするが、手入力のケース等を考慮し、統一物品コードは8桁とする。

②資材課が取り扱う修理品含む物品すべてを対象とする。

③統一コード体系には分類体系を入れない

8桁の構成：① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ○○○○○○

1桁目：物品区分

A:医薬品 B:試薬 C:医療材料 D:文房具 E:日用雑貨 F:印刷物 G:その他 R:修理

2桁目：共通・病院別区分

P:2～3病院の共通物品 S:大学固有 H:八王子固有 I:茨城固有

3～8桁目(6桁) 連番(シリアル番号)

注：①固有とは1病院のみが使用する医材、特注品、修理、印刷物、日雑など

例：	① PTCAバルーンカテーテル(共通)	CP000123
	② トラック(医材・大学のみ)	CS000056
	③ ワーファリン(薬・共通)	AP005678
	④ トンボ鉛筆 HB (共通)	DP000456
	⑤ 印刷物(八王子)	FH000134
	⑥ ペアン無鉤止血鉗子(修理・大学)	RS002568

注：①印刷物、修理はすべて固有(S, H, I)になる

②マスタ登録時(共通は東医社、固有は各病院で入力)に頭2桁を入力すると後の6桁は自動的に付番される

出所：イザイ 23号 東京医科大学・調達一元化プロジェクトの取組より

《マスタ統合作業》

回収した病院マスタでは統合するのに必要な共通したJANコードなどの参考コードが登録されていないので作業が困難であった。その為、3病院のSPD業者よりJANコード等の項目を回収し統合マスタベースを作成した。不用・死んでいるコードを削除し、統合コードを附番した結果、マスタ件数を約45千件から約35千件に約10千件削減し、マスタ内容を充実させることができた。

施設名	DD病院		IBセンター		HCセンター	
業者名	Y社	2,990	K社(その他)	4,743	K社(その他)	7,056
	N社(インプラント)	6,336	内訳		内訳	
	T社(インプラント)	3,350	・インプラント	433	・インプラント	9,512
	W社(高額カテーテル)	2,948	・眼内レンズ	215	・眼内レンズ	414
	S社(高額カテーテル)	985	・高額カテーテル	172	・高額カテーテル	3,279
	SK(高額カテーテル)	787				
	L社(眼内レンズ)	633	AS社	702		
	A社(人工血管)	455				
	J社(ペースメーカー)	297	M社(その他)	42		
	M社	147	内訳			
	M社	394	・インプラント	42		
	I社	349				
	F社	139				
	その他	355				
マスタ総件数		20,165		6,349		20,261
高額材料マスタ		15,231		1,564		13,205

施設名	全件	内訳		
		他病院共通品	他病院共通品率	単独品目数
DD病院	19,835	7,738	39.0%	12,097
IBセンター	5,553	2,534	45.6%	3,019
HCセンター	20,048	7,920	39.5%	12,128
合計	45,436	18,192	40.0%	27,244

同一物品マスタ名寄せ結果(統合マスタ)

施設名	統合前	統合後	内訳	
			3病院共通品	3病院共通品率
東医大グループ	45,436	35,796	1,088	3.0%

※同一物品の共通率は低いが、同物品サイズ違い(眼内レンズ、高額カテーテル、インプラント等)が多い為

実際には3病院共通使用物品は多い。

平成25年4月時点: 東医大マスタ件数 約35,000件 調達一元化物品:27,000件 病院独自購入物品:8,000件

出所:イザイ 23号 東京医科大学・調達一元化プロジェクトの取組より

病院別単価マスタ登録画面《東医社(本部)専用》

東医社 - Windows Internet Explorer

https://saxnet-service.com/tou12/servlet/DanaInfo=tou12.websrv03.local+... 東医社

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

ようこそ東医社 1さん
【マスタ】
・各種コード保守
・取引先マスタ
・帳票設定マスタ
・商品マスタ
・顧客別商品単価マスタ
【取引明細】
【請求・売掛金管理】
【買掛金管理】
【マスタ一括処理】
【取引明細一括処理】
【システム設定】
【マニュアル】

MDPD3 顧客別商品単価登録 <130201>

統合コード(東医大オリジナル) メディエコード

親商品情報 商品コード CP031403 カタログ番号 1012274-15 メディエコード T877112

商品名 TREK RX 型番
規格 バルーン3×15mm JANコード バーコード 8717648138430

単位 1 本 入数 1 販売元 M0172 アボットバスキュラージャパン 製造元 M0170 アボットバスキュラー

顧客別商品情報 計上部門 東医社 最終需要先コード K0001 東京医科大学病院

商品コード(最終需要先) 011875 商品名(最終需要先) 経皮的冠動脈形成術用カテーテル TREK 規格(最終需要先) 10122* * * * *

備考(最終需要先) 社内メモ 仕入・売上区分 両方 契約区分

資材コード 業者管理コード(ない場合は空白)

東医大グループ統合マスタ
《マスタコーディング3病院統一情報》

病院名

今まで使っていた各病院の資材
コードを継承している

各病院独自情報

統一価格情報(仕入先情報等含む)

業者(仕入先) 業者仕入価格 東医社販売価格

取引先コード K0008 取引先名称 株式会社インターナショナル 取扱い区分 レギュラー 有効開始日 2012年04月 有効終了日 まで 単価/掛率 %

参考償還価格 79,100円 定価 79,100円 掛率基準 参考償還価格

旧仕入単価 旧仕入単価セット 旧納入単価 特別仕入単価 特別納入単価 セット品納入単価

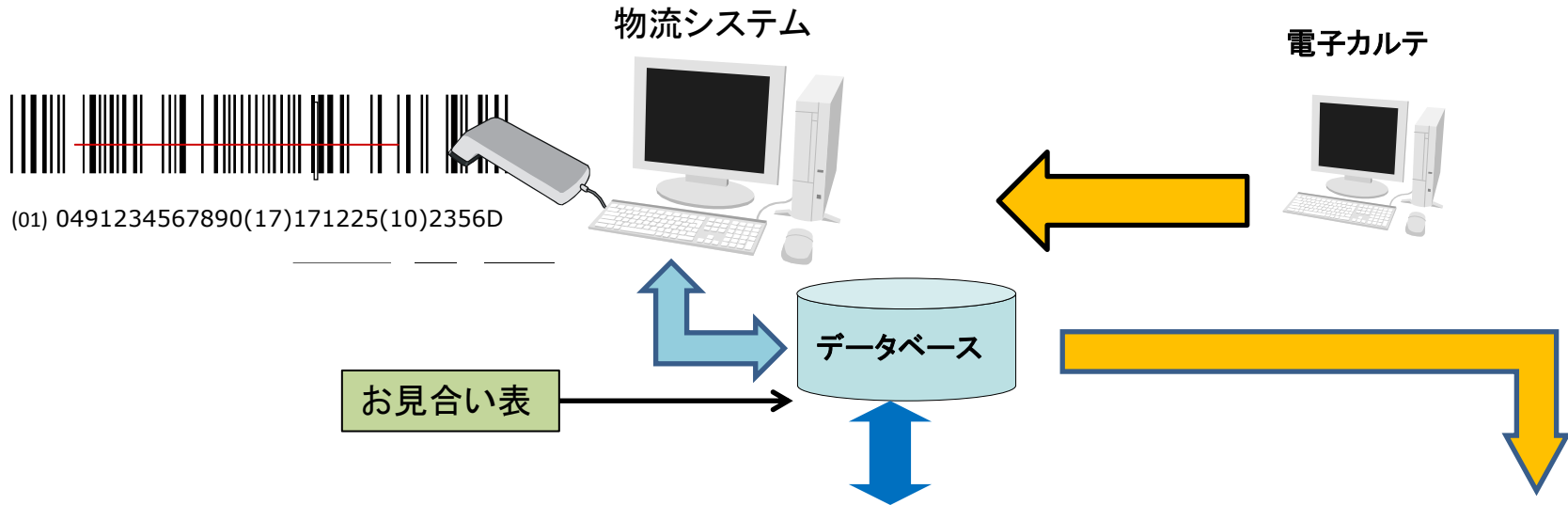
課税・非課税 課税 外税・内税 外税

マスタコーディングの結果、統合コード・資材コード・業者管理コード・メディエコード・JANコードの汎用的に使用できるコードも含め、5種類のコードの紐付けが可能となり、調達一元化業務(価格比較及び交渉)を円滑に運用しています。
※WEBシステム管理 統合マスタ件数：約3万5千件

出所: イザイ 23号 東京医科大学・調達一元化プロジェクトの取組より

GS1-128活用と
ローカルコード紐つけ例

紐付け方法



GTIN14	メディア	物品コード ローカル コード	製品名	規格	メーカー	数量	@	有効 期限	ロット 番号	患者 番号	使用 月日
0491234567790	Txxxxxx	▲▲▲▲▲	ホローファイバー ダイアライザー	ルアロック2.1㎡	旭化成			171025	2333A	987651	160215
0491234567790	Txxxxxx	▲▲▲▲▲	ホローファイバー ダイアライザー	ルアロック2.1㎡	旭化成			171120	2350D		
0491234567790	Txxxxxx	▲▲▲▲▲	ホローファイバー ダイアライザー	ルアロック2.1㎡	旭化成			171225	2366K		

帳票（部署別・月別使用データ）

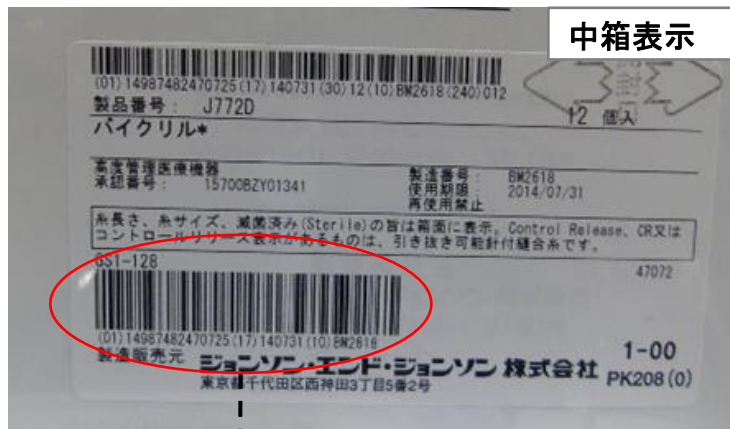


GTIN14	メディア	物品コード ローカルコード	製品名	規格	メーカー	数量	@	金額
0491234567890	Txxxxxx	▲▲▲▲▲	ホローファイバー ダイアライザー	ルアロック2.1㎡	旭化成			

院外型SPD業務におけるGS1-128活用例（１）

《入荷から倉庫内の管理》

入荷した商品のGS1-128コードをバーコードリーダーで読み込み、社内の独自コードにコード変換し、社内物流用の「商品ラベル」を発行する。



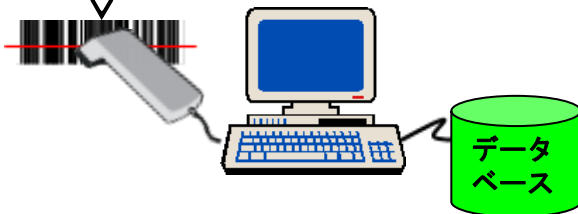
ラベル
発行

商品ラベルのイメージ

商品コード: 2017562350 発行日: XX/XX/XX
商品名: バイクリル
規格: ○○○○○○ 1箱 00本入り
高度管理医療機器 ロット番号: BM2618
販売元: ジョンソン・エンド・ジョンソン 有効期限: 14/07/31
棚番号: A2-35



社内のシリアル番号



- ①医療機器コード変換マスタ
- ②ひも付きデータ
- ③その他データ



「商品ラベル」には、メーカー名、商品名、規格、サイズ、単位の他に、GS1-128コードにより読み込まれたロット又はシリアル、有効期限が引きつがれる。
この商品ラベルを中箱あるいは個装に貼付し、商品棚に保管する。

院外型SPD業務におけるGS1-128活用例（2）

《出荷から顧客病院内の管理》

出荷時には、前述の「商品レベル」以外にバーコード印字の「IDカード」と呼ばれるもう一枚のカードを商品に貼付する。IDカードは、院内のどの部署に、商品をいくつ配置するか配置管理および使用時にIDカードをカードボックスに投入し、IDカードを読み消費管理を行うためのツールである。

IDカードの枝番によりシリアル管理が行っており、出荷時、「商品ラベル」と「IDカード」の同期をとることにより、院内のどの部署に、どのロットが配置されており、その有効期限がいつなのかを物流管理システムで把握している。



SPD業者のGS1-128活用例（2）－1

1. 定数カード(シリアル番号付き)のバーコードを読み込み



定数カードは、部署定数の材料補充のために弊社が各材料に貼付するものです。定数カードのバーコード読み込みによって、部署・材料名・荷姿が特定できます。



2. 現物に貼付されているGS1-128バーコードを読み込み



①有効期限6ヶ月未満の材料はエラー表示
が出ます(期間は任意に設定可)

②有効期限およびロット情報を弊社システムに
蓄積します

3. 定数カード情報とGS1-128情報の突合せ

定数カードの材料と一致するか(荷姿・規格)という点を確認し、正規の材料のみを出庫します

SPD業者のGS1-128活用例(2)ー2 (ロット情報のトレーサビリティ)

カード情報照会 [詳細表示] - SCMシステム

部署コード 120 - 00 外科

材料コード 130123 シリンジ 10ml SS-10ESZ 横口

定数管理種別 カード管理(緑)

引当先 9999 SPDセンター

包装区分 パック(10本)

カード枚数 2 現在部署在庫数(バラ) 20

	カードID	カード状況	発行日時	最終読取日時	最終出庫日時	廃止日時	廃止理由	ロット/シリアル	有効期限
1	000000000803	使用中	2012/02/02 15:38	2013/05/13 16:39	2013/05/14 11:12			130317C	180200
2	000000022575	使用中	2010/08/11 19:01	2013/05/17 16:56	2013/05/20 11:38			130319C	180200

カード情報照会 [履歴表示] - SCMシステム

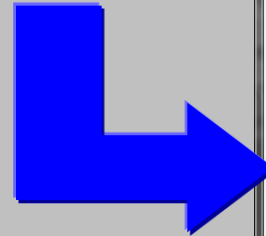
カードID 000000000803

部署コード 120 - 00 外科

材料コード 130123 シリンジ 10ml SS-10ESZ 横口

包装区分 パック(10本)

	処理日時	処理種別	ロット/シリアル	有効期限
1	2013/05/14 11:12	出庫	130317C	2018/02/28
2	2013/05/13 00:00	消費	130314C	2018/02/28
3	2013/05/10 11:28	出庫	130314C	2018/02/28
4	2013/05/09 00:00	消費	130311C	2018/02/28
5	2013/05/07 11:07	出庫	130311C	2018/02/28
6	2013/05/03 00:00	消費	130308C	2018/02/28
7	2013/04/25 11:08	出庫	130308C	2018/02/28
8	2013/04/24 00:00	消費	130301C	2018/02/28
9	2013/04/23 11:39	出庫	130301C	2018/02/28



①自主回収等が発生した場合、JANコードを活用し、各部署に定数管理されている材料について、自主回収対象ロットを調査し、対象ロットが発見された場合には、即時現場より引き揚げます。なお、自主回収の情報は、厚生労働省の外郭団体である医薬品医療機器総合機構(PMDA)のホームページより入手します。

②同時に、履歴表示により、過去の各部署でのロット情報を確認することができます。

※PMDAに掲示する「回収概要」には“標準コード=JAN”を必ず記載していただきたい

京都第二赤十字病院のGS1-128活用例

《 運用方法 》

- ①院内で使用するシリアルバーコードのピンク色シールを納入業者に渡し、中箱にピンク・シールを貼付した商品を納品・検品時にピンク・シールとGS1-128バーコードの2つ異なるコードを読むことで、紐付けする。
- ②各部署へ払い出す際に、院内用シリアルバーコードである、ピンク・シールを読み払い出し部署ごとに管理する。



京都第二赤十字病院のGS1-128活用例

- ③危険度の低いもの、安価なものは包装単位、使用単位で消費管理している。
- ④部署ごとに使用した材料のピンク・シールを台紙に貼り、消費管理をしている。

③



④



- ⑤手術室においては、手術室業務支援システムSolemioOR(オリンパスメディカルシステムズ製)の携帯情報端末、あるいはシステム端末に付随したバーコードリーダーで読み込むことで、特定保険医療材料、高額な材料などはGS1-128バーコードを読み取り(実施入力)、患者に使用した材料名・ロット番号・シリアル番号を紐付けている。



⑤



Q & A その3

Q: 3) 標準コードを物品コード・管理コードに付け替えると変換ミスが起こる可能性あり、一気通貫で標準コードを使うべきでないか？

A: その通りであるが、「その2: 標準コードが付番されていない物品」はどのように対応すればよいのか、厚労省、MEDIS-DC, 流通システム開発センター等からその対応方法が示されていない。



現実的な現場の対応策としては、コード変換による対応しかないのでは



変換ミスが起こらないように医療材料マスタデータのメンテナンスが最重要である ⇒ マスタデータのメンテナンスを軽視する傾向あり

マスタメンテナンスは、SPD業者、医療機器販売業者、資材課の業務の要

Q & A その4

Q: 4) JANコードとEAN／UPC(欧州／北米)コードとは互換性があり、GTIN (Global Trade Item Number)も互換性があるはずなのに、なぜ、欧米など生産国のGS1コードをわざわざ日本の国コード450～459、490～499を頭につけたGS1-JAPANのコードに置き換えて製品表示するのか？

A: 薬事法上で日本語の表記が必要である。(医療機器販売業協会見解)

◎SPD業者・販売業者ともに生産国で使用しているバーコードがGS1-128であれば、MEDISにそのバーコードのGTIN等の情報を登録してもらえばバーコードそのものは生産国のものでもかまわないと考えられる。
※生産国のバーコードを読むためのDBが無いことが問題

(参考)

FDA UDI規制における表示コードのコード発行機関

①GS1

②HIBCC(Health Industry Business) 米国ヘルス産業ビジネス情報化協議会

③ ICCBBA(International Council for Commonality in Banking Automation)
血液関係製品の自動化・共有化の国際協議会

標準コードの課題

- ① MEDIS-DC医療機器データベースの内容・正確性
 - 二重登録がある
 - 分類がない
 - GS1-128バーコードが読めないことがある(バーコード表示の不備)
- ② MEDIS-DC医療機器データベース運営・使用上の問題
 - メーカーの任意登録
 - MEDIS自身がメンテナンスを行っていない
 - 医機連が運営経費を補填させられている
 - 利用料が医療機関・大学は無料、SPD業者、医療機器販売業者等は有料
 - 医療機関には約80～90万件のMEDIS-DCデータをダウンロード、メンテナンスできる人材がいない

標準コードの課題

- ③ GS1-128を誰がどのように医療機関に普及促進させるのか？
そのために標準コード付番・活用を義務化・法制化を求める声も聞かれる

●標準コードの付番・活用を促進するためには、病院は標準コードが付番されていない医療材料は購入しなければよいとの意見もあるが、……

(トレーサビリティの強化)

- * 販売業者は、生物由来商品報告義務、高度管理医療機器譲渡・受渡記録保存義務、特定医療機器記録保存義務などのロット管理のため利用している。
- * 医療機関は、特定医療機器記録保存義務(ペースメーカーなど)、特定生物由来商品使用記録作成義務(医薬品)のみなので、ロット管理等に関心が薄いのでは？

- ④ メーカー・製造販売業者側の不満

- ⑤ SPD業者・医療機器販売業者の不満

①②③

販売単位包装にいろいろなコードが表示、貼付されており、現場ではどのコードを読めばよいのか混乱させられる



ご清聴有難うございました。

ご質問・お問合せは下記までお願いします。

SPD研究会

(株)メディ・ケア情報研究所 内

東京都目黒区東が丘1-10-2

TEL & FAX 03-5481-1165

E-mail : kasahara@medicare-net.co.jp

URL : <http://www.medicare-net.co.jp>